

2014年12月 東都生協NO₂測定濃度分布図

2014年12月4日～12月5日に測定したNO₂(二酸化窒素)の測定結果をお知らせします。

人の健康に悪影響を与える汚染物質、イオウ酸化物(SOX)、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NO_x)、炭化水素、浮遊粒子状物質(SPM、PM2.5)などは主に自動車から出る排気ガスが原因です。

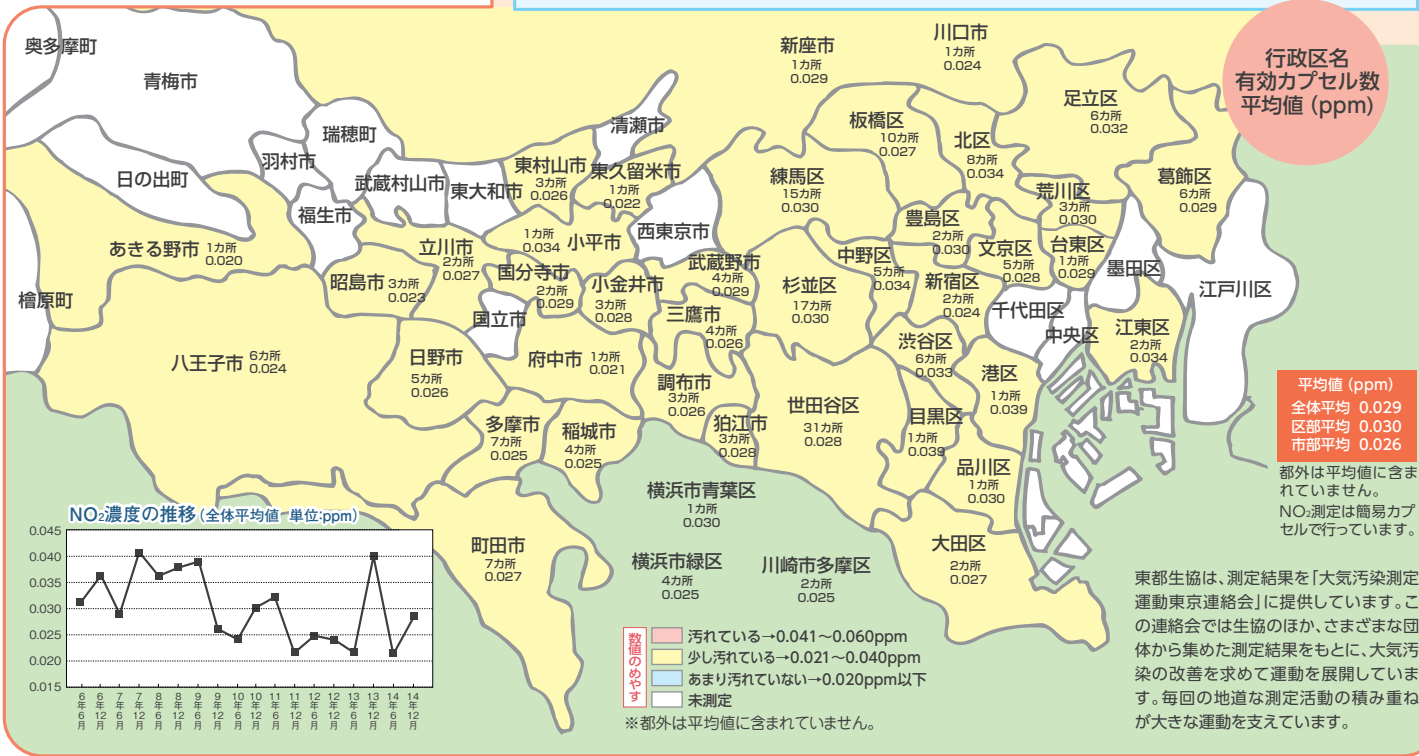
東都生協は、身近なところの空気を実際に測って自分たちで確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすればよいかをみんなで考えていくために、1988年から二酸化窒素NO₂測定活動を実施しています。

2014年12月の測定結果

今回測定したNO₂(二酸化窒素)の平均濃度は0.029ppm。前回(2014年6月5日～6日測定)の平均値(0.020ppm)と比べて0.009ppm高い濃度です。都内の主な大気汚染常設監視測定局が測定したNO₂平均濃度は、道路沿いが0.034ppm、住宅地は0.027ppmでした。

一斉測定日: 2014年 12月4日(木)午後6時～ 12月5日(金)午後6時 (前後2時間を有効)	当日の天気: 4日(雨)、5日(晴) 風速: 4日～5日の測定局に おける平均風速、約1.5m/s	測定規模 ・カプセルの配布数:263個 ・カプセルの返却数:236個(回収率89.7%) ・有効測定数 :193個(有効回収率:73.4%) 測定結果:NO ₂ (二酸化窒素)の全体平均値 0.029ppm(区部0.030ppm、支部0.026ppm)
--	---	--

※環境省が定めたNO₂の基準値は「0.04～0.06ppmのゾーン、またはそれ以下であること」とされています。



東都生協は、測定結果を「大気汚染測定運動東京連絡会」に提供しています。この連絡会では生協のほか、さまざまな団体から集めた測定結果をもとに、大気汚染の改善を求めて運動を展開していきます。毎回の地道な測定活動の積み重ねが大きな運動を支えています。